

# 愛知県感染症情報

## 平成 12 年第 48 週 ( 11 月第 5 週 )

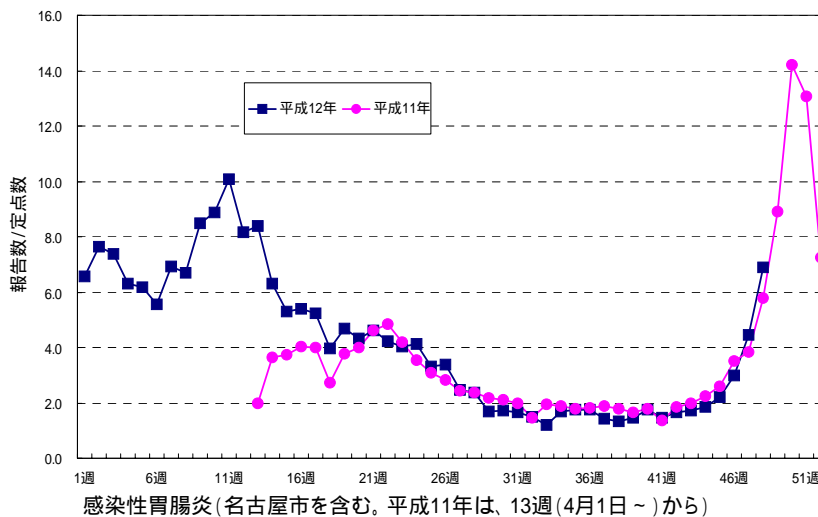
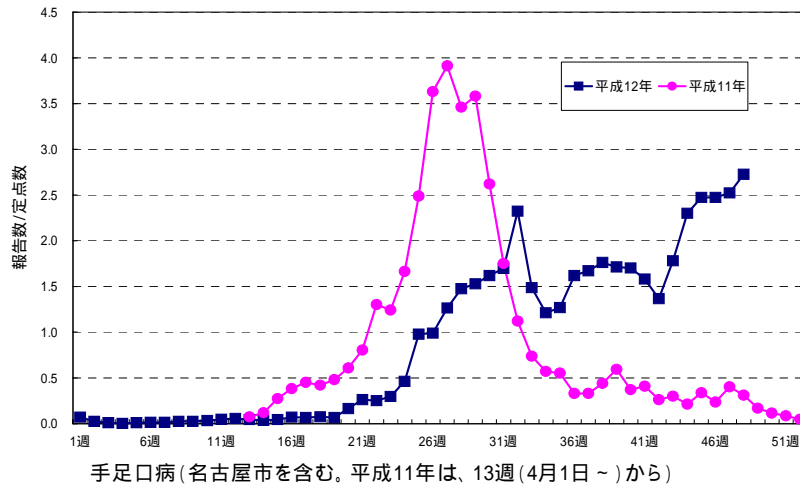
(コメント)

インフルエンザは、地域的に散発が見られます。

水痘、流行性耳下腺炎はいずれも流行中です。

手足口病は、例年夏季ににかけて流行しますが、今年はまだ報告数の増加が見られますので注意してください。

感染性胃腸炎は、昨年と同じような流行パターンで増加しています。



(先生方からのコメント)

● 尾張西部地区

- ・ 水痘、流行性耳下腺炎、手足口病、感染性胃腸炎等の感染症が認められる。

(一宮市 後藤小児科医院)

- ・ インフルエンザ A 迅速反応陽性者 男 10 名、女 7 名（この中 5 歳以下 12 名）増えてきました。  
病原性大腸菌陽性者 0-1 2 名（14 歳男、7 歳女）  
マイコプラズマ肺炎 1 歳男  
（尾西市 城後小児科）
- ・ 急性出血性結膜炎患者、男性 1 名（20～29 歳）は瀬戸市在住の方です。  
（一宮市 ふなはし眼科）
- ・ 急性胃腸炎が多くなりました。発熱を伴うものと嘔吐、下痢のものとの 2 種あるようです。ムンプス、水痘、手足口病続発中  
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ A 群溶連菌感染症、水痘、感染性胃腸炎（嘔吐を伴う）が流行しています。  
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- 尾張東部地区
  - ・ マイコプラズマ感染症（気管支炎、肺炎）が多くみられます。  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
  - ・ 突発性発疹、溶連菌感染症散発。  
上気道炎から気管支炎に進行し、発熱、咳嗽著明な症例が目立ちました。  
（尾張旭市 佐伯小児科医院）
  - ・ カポジ水痘様発疹症 7 歳男  
（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）
  - ・ 下痢嘔吐症が急増しています。  
（春日井市 朝宮こどもクリニック）
  - ・ 9 か月の女児で単純ヘルペス症で発疹が顕著な一例がありました。  
カンピロバクターによる感染性腸炎がみられました。  
（春日井市 かちがわ北病院）
  - ・ 手足口病の髄膜炎まだあります。  
溶連菌感染症小発生。  
（小牧市 小牧市民病院）
  - ・ ロタウイルス陽性の胃腸炎も増えました。  
病原性大腸菌 0-6 VT1・2（-）1 歳男  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）

- 西三河地区

- ・ カンピロバクター腸炎 3歳女  
病原性大腸菌2名 (0-15 2歳男、0-1 1歳男)  
高熱を主訴に来院される方が増えています。  
インフルエンザAウイルス抗原迅速反応は陰性です。  
マイコプラズマ感染者が散発的に増えています。  
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
- ・ 病原性大腸菌(0-1 10ヶ月男、0-86a 5歳男、0-159 36歳男)いずれもVT1・VT2(-)  
カンピロバクターと病原性大腸菌 0-18 VT1・VT2(-) (6歳男、6歳女)  
マイコプラズマ肺炎 5歳男  
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 病原性大腸菌 0-18 1歳男  
(岡崎市 とみた小児科)
- ・ 流行性耳下腺炎が引き続き目立ちます。  
(碧南市 永井小児科クリニック)
- ・ 保育園児、学童の嘔吐症が急増。  
(西尾市 やすい小児科)
- ・ マイコプラズマ肺炎 4歳男  
(三好町 三好町立三病院)
- ・ マイコプラズマ肺炎 12歳男  
(足助町 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院)

- 東三河地区

- ・ 今週に入って嘔吐・下痢の患者さんが急に増えてきました。  
(豊橋市 あずまだこどもクリニック)
- ・ インフルエンザ様発熱疾患の子が増えています。ディレクトティジェンFlu検査、インフルエンザOIA検査は共に陰性です。インフルエンザOIA検査は判別が難しい。今年の感染性胃腸炎の症状は軽い。  
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)
- ・ 先週から今週にかけて感冒性胃腸炎が目立つ。  
(田原町 かわせ小児科)

( 1～3 類感染症の発生状況 )

腸管出血性大腸菌感染症患者 4 名。

- ・ 津島保健所から報告の 2 歳女。11/7 発病、11/9 初診、11/11 診定。  
菌型は、0-157 VT1・2( + )。
- ・ 津島保健所から報告の 8 歳男。11/11 発病、11/11 初診、11/17 診定。  
菌型は、0-157 VT1・2( + )。
- ・ 一宮保健所から報告の 2 歳女。11/13 発病、11/20 初診、11/23 診定。  
菌型は、0-157 VT1・2( + )。
- ・ 瀬戸保健所から報告の 6 歳女。11/20 発病、11/22 初診、11/28 診定。  
菌型は、0-157 VT2( + )。

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

発生はありません

46 週 ( 11 月 13 日～11 月 19 日 ) の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘の定点当たり報告数がかなり多くなっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は鳥取県で定点当たり報告数 6.2、水痘は山形県で 5.2 と多くなっている。感染性胃腸炎は現在のところ平年並みの流行曲線となっているが、宮城県、福島県、石川県で定点当たり報告数が 10 を超えている。咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなど、夏季の流行疾患の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。ヘルパンギーナは愛媛県で定点当たり 2.6 と報告が多くなっている。麻疹の定点当たり報告数が例年の同時期に比べかなり多く、奈良県と高知県で患者報告数が多くなっている。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり 6.7 と報告が多い。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報 )